

**平成23年度**

**市民と市長の対話集会**

**市長と語りう！ほっとミーティング**

## 開催結果報告書

- 1 対話集会の目的
- 2 開催日程・参加者数・傍聴者数一覧表
- 3 対話集会で取り上げられた防災対策の内容
- 4 参加者からの意見・要望・質問
- 5 市政への反映状況

平塚市 市民情報・相談課

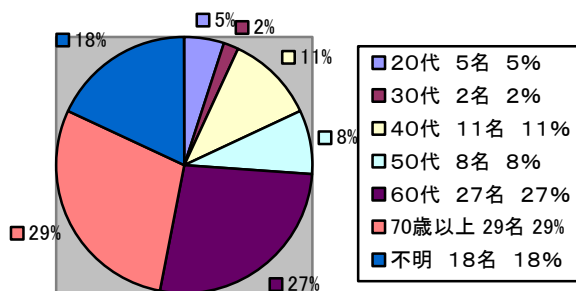
## 1 対話集会の目的

市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、市長が地域に出向き、市民と直接対話を行うことで、市民の視点からの発想を生かした行政運営を推進していくとともに、市政への理解を深めてもらうことを目的とする。

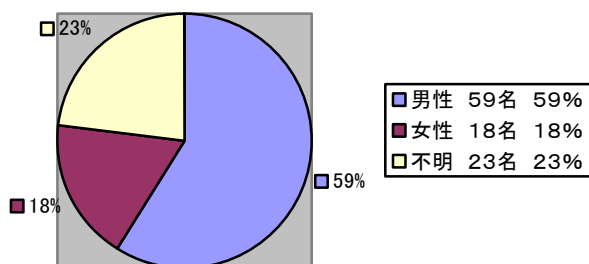
## 2 開催日程・参加者数・傍聴者数一覧表

開催日時	開催場所	参加者数	傍聴者数
平成23年11月4日（金） 午後7時から午後9時	花水公民館	18名	20名
平成23年11月19日（土） 午後1時30分から午後3時30分	金目公民館	14名	4名
平成24年2月2日（木） 午後7時から午後9時	中原公民館	10名	14名
平成24年2月11日（土） 午後1時30分から午後3時30分	四之宮公民館	12名	8名
<b>合計</b>		<b>54名</b>	<b>46名</b>

○平成23年度市民と市長の対話集会、参加者・傍聴者の年齢の割合



○平成23年度市民と市長の対話集会、参加者・傍聴者の男女比



## 3 対話集会で取り上げられた防災対策の内容

### ○平成23年11月4日（金）花水公民館

- ①津波避難ビルについて
- ②避難所について
- ③津波避難ビル、避難所以外の津波対策について
- ④災害時の情報伝達方法について
- ⑤避難所である学校の収容可能人数と避難所の耐震性について
- ⑥高齢者、障がいのある方の避難方法について 等



花水公民館での対話集会の様子

### ○平成23年11月19日（土）金目公民館

- ①避難所について（避難所の指定、避難所・経路の仕組み、避難所の飲料水）
- ②川の防災対策について（金目川の整備、上流域との連携、川津波、水防団）
- ③災害時の情報伝達方法について（防災行政無線）
- ④防災対策における人の力について（地域力、女性のパワー）
- ⑤ハザードマップについて
- ⑥放射能汚染について 等



金目公民館での対話集会の様子

## ○平成24年2月2日（木）中原公民館

- ①災害時の情報伝達について
- ②防災対策に関する予算について
- ③津波対策について
- ④地域力による防災対策について
- ⑤災害時の帰宅困難者への対策について
- ⑥防災講演会について



中原公民館での対話集会の様子

## ○平成24年2月11日（土）四之宮公民館

- ①相模川の護岸整備について
- ②津波避難ビル・津波対策・防災マップについて
- ③防災行政無線・情報伝達方法について
- ④災害時要援護者の支援・地域コミュニティーについて
- ⑤災害が起きた後の対策について
- ⑥災害時の医療体制について
- ⑦防災教育について



四之宮公民館での対話集会の様子

## 4 参加者からの意見・要望・質問

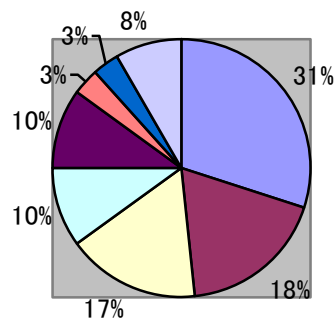
平成23年度に開催した市民と市長の対話集会「市長と語ろう！ほっとミーティング」では、参加者の皆様から防災対策に係る様々な御意見、御要望、御質問をいただきました。

○参加者の皆様からいただいた御意見、御要望、御質問

種類	件数	種類	件数
津波対策	18	訓練・啓発	6
防災情報	11	消防・水防団	2
地域力	10	放射能汚染対策	2
避難所・医療体制	6	その他	5

○いただいた御意見、御要望、御質問の割合

■ 津波対策 31%	■ 防災情報 18%	□ 地域力 17%
□ 避難所・医療体制 10%	■ 訓練・啓発 10%	■ 消防・水防団 3%
■ 放射能汚染対策 3%	□ その他 8%	



○御質問について、対話集会の中で説明、回答をすることが多かったのですが、別途、担当課等に照会を行い、回答したものが6件あります。

質問内容	会場	照会先
津波避難ビルについて	花水公民館	防災危機管理課
金目川の整備について	金目公民館	県平塚土木事務所
津波浸水モデルシミュレーションについて	中原公民館	防災危機管理課
学校屋上のフェンスについて	四之宮公民館	教育施設課
銀河大橋への避難について（1）	四之宮公民館	防災危機管理課
銀河大橋への避難について（2）	四之宮公民館	土木総務課

※詳細については、各公民館の開催結果報告書をご覧ください。

## 5 市政への反映状況

平成23年度に開催した市民と市長の対話集会「市長と語ろう！ほっとミーティング」にて、いただいた防災対策に係る御意見、御要望については、本市担当課へ送付をし、市政への参考にしています。

市民と市長の対話集会「市長と語ろう！ほっとミーティング」にて、いただいた防災対策に係る御意見、御要望の市政への反映状況について、次のとおり報告いたします。

### ①津波避難ビルについて

平成24年3月31日時点で「津波避難ビル」として、民間施設23か所（うち1か所は建設中）と公共施設8か所の計31か所を指定しています。

今後も、建物構造などの要件を満たす建築物について、自治会と連携し協力をお願いをしていきます。

JR東海道線以南の地域及び、相模川、花水川沿いの浸水予測区域に隣接する地域を対象に、津波避難ビルの指定を進めています。

### ②防災マップについて

平成24年3月31日時点、本市では防災マップとして、避難所、災害によって大火災が発生したとき、そのふく射熱や煙から身を守ることができる広域避難場所、大地震が発生し、多数の負傷者が出た場合に災害時の円滑な医療、救護体制の充実を図るために市内各所に開設される臨時救護所を示したものがあります。

神奈川県が津波浸水予測図の見直しを行い、平成24年3月30日に公表しました。

これを基礎資料として本市の津波ハザードマップを作成します。また、揺れやすさ、建物の倒壊率、過去に液状化した場所、津波避難ビル・避難所・臨時救護所の位置、津波への意識啓発等も盛り込み、平成24年度中に市内全戸にお配りする予定です。

### ③津波対策について

津波に関する知識の普及、啓発や避難方策等の検討に資することを目的とし、平塚市津波浸水シミュレーションビデオを作成しました。

このシミュレーションは、神奈川県が公開した津波浸水予測図（素案）における本市の浸水域が最大となる慶長型地震で予測される最大波高6.8メートルと神奈川県の想定を超える波高10メートルを採用したものです。

自治会、自主防災組織、学校等に配布し、本市ホームページにて視聴できます。また、市内公共施設にてDVDの貸出をしています。

津波の溯上に備えた河川の護岸整備について、相模川の築堤は平成26年度中に下水道右岸処理場前の排水容量拡大の整備を終えたのちに進めていく計画ですが前倒して行えるよう、国への要望を続けていきます。

### ④情報伝達方法について

防災行政用無線のスピーカーは定期的な調整を継続して実施しています。難聴対策については、無線子局の改善を図ることによって対応していきます。

平成23年8月1日から、防災行政用無線の放送内容を電話で確認できるテレフォンガイドを導入しました。（直近の放送のみ、1時間以内）

平成23年8月1日から、災害時の情報発信のほか、本市の防災危機管理に関する情報を発信するツイッターを導入しました。

また、本市内で受信可能な携帯電話（NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、KDDI（au）の3社）に本市からの緊急災害情報を一斉配信する「緊急速報メール（エリアメール）」を導入しました。

さらに、防災行政用無線放送が受信でき、AMとFMラジオとしても使用できる防災行政用ラジオを自治会長等にお配りしました。今後、希望される市民の皆様が購入できるかを研究しましたが、単価が高額なこと等もあり、有償配布は難しいと考えています。

### ⑤学校、幼稚園、保育園等での避難方法について

東日本大震災後、市内学校施設の屋上のフェンスについて確認をし、未設置であった海側の学校3校にフェンスを設置しました。

平成23年11月には、本市教育委員会が平塚市学校安全・防災計画を（地震・津波対策編）を作成し、各学校（園）において学校防災に対する意識と対策の向上に努めています。

## ⑥災害時要援護者の支援について

災害時要援護者の支援について、現在本市では災害時要援護者登録制度を実施しており、平成24年3月31日現在約5,500の方が登録されています。今後も登録の推進に努めます。

また、現在、支援体制づくりを進めている地域の取り組みを参考例として、他の地域に情報提供をしておりますが、支援体制づくりの手引書の作成、配付を行うなどして、この取り組みが多く地域で進められるよう働きかけてまいります。

## ⑦耐震補強対策について

本市では対象になる耐震補強工事に対して補助があります。

耐震補強工事に係る説明会を公民館にて、平成23年度は9回実施しました。平成24年度も実施する予定で、今後も市民の皆様への耐震補強に対する意識啓発を行っていきます。

## ⑧放射能汚染対策について

本市では、福島第一原発事故を受け、市民の皆様への安心安全のために市内各地で放射線量を測り公表してきました。

継続して市内施設にて測定した結果を公表し、高い放射線量が測定された場所とその対応についても公表しています。

本市では、平成24年2月20日（月）から放射線量測定器の無料貸出を開始しました。